

政策評価シート【個票:生活実感・行動指標】

施策の柱	3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3-2-1 生涯学習の推進

指標NO 75

指標名	この1年間に、生涯学習施設を利用したことがある	単位	%
-----	-------------------------	----	---

担当局(区)	教育委員会事務局
--------	----------

区分	H23末現状値	H27中間評価(H26末値)	H30中間評価(H29末値)	H34最終評価(H33末値)	達成状況
目標値	—	54.0	57.0	60.0	X
現状値	50.3	44.1	—	—	

目標設定の考え方	市民のニーズに応じた生涯学習の機会を提供し、市民生活を豊かなものとするとともに地域社会の課題解決などに活かすため、生涯学習施設の利用を促進することとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
生涯学習施設の利用促進のため、さまざまな事業に取り組んできたが、老朽化が進む公民館の改修が目標を下回るなど、より利用しやすい施設の提供ができなかったことから、この1年間の生涯学習施設の利用率が目標を下回る44.1%にとどまってしまった。

【課題及び今後の取組みの方向性】
継続して、第2次実施計画に計上した公民館の改築や改修を行い利用環境を改善していくほか、公民館等の生涯学習施設で施設の利用のきっかけとなるような講座を検討していく。

指標を構成する事業

計画事業								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費(千円)
1	地域づくりにつながる学習講座の推進	地域活動に係る人材養成	890人／年	50人／年増	940人／年	1,067人／年	達成	0
2	公民館の改修	冷暖房改修	—	4館	4館	3館	未達成	70,737
3	公民館の改修	屋上防水改修	—	8館	8館	3館	未達成	
4	読書環境整備の推進	計画の策定	—	調査、策定	策定	策定	達成	0
5	図書館の改修	みやこ図書館	—	空調設備改修	空調設備改修 完了	空調設備改修 完了	達成	69,611
6	真砂コミュニティセンターの再整備	耐震補強	—	耐震診断、設計、工事	耐震補強完了	耐震補強	未達成	223,854
7	真砂コミュニティセンターの再整備	施設改修	—	改修工事	改修工事完了	改修工事	未達成	
8	コミュニティセンターの改修	中央コミュニティセンター 松波分室(耐震補強)	—	設計・工事	完了	完了	達成	219,125
9	コミュニティセンターの改修	幕張コミュニティセンター (外壁・屋上防水改修)	—	設計・工事	完了	完了	達成	
10	コミュニティセンターの改修	畠コミュニティセンター (耐震補強、外壁・屋上 防水改修)	—	設計・工事	完了	完了	達成	

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費(千円)
1	生涯学習センター管理運営事業	講座等の学習機会の提供や学習活動の支援、研修室等の貸出(年間延受講者数)	52,233人	160,500人	54,000人	45,945人(3か年平均)	未達成	1,645,691
2	科学館管理運営事業	展示事業、プラネタリウム事業、学校団体等の支援(年間入館者数)	384,001人	1,176,000人	395,000人	352,373人	未達成	1,595,744
3	公民館管理運営事業	講座等の学習機会の提供や学習活動の支援、施設の貸出(年間延受講者数)	47,121人	144,000人	49,000人	42,489人	未達成	1,268,981
4	加曾利貝塚博物館管理運営事業	入館者数	16,755人	51,632人	17,435人	9,975人	未達成	10,710
5	郷土博物館管理運営事業	入館者数	33,216人	102,334人	34,555人	37,018人	達成	4,108
6	図書館管理運営事業	施設の管理・運営	中央図書館 1館 地区図書館 6館	中央図書館 1館 地区図書館 6館	中央図書館 1館 地区図書館 6館	中央図書館 1館 地区図書館 6館	達成	0

政策評価シート【個票:生活実感・行動指標】

施策の柱	3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3-2-1 生涯学習の推進

指標NO 76

指標名	生涯学習で学んだ知識や技術を地域や社会活動で活かしている	単位	%
-----	------------------------------	----	---

担当局(区)	教育委員会事務局
--------	----------

区分	H23末現状値	H27中間評価(H26末値)	H30中間評価(H29末値)	H34最終評価(H33末値)	達成状況
目標値	—	9.6	10.3	15.0	
現状値	8.8	10.0	—	—	○

目標設定の考え方	市民が生涯学習で学んだ知識や技術を地域や社会で活かすことにより、地域の活力の向上などを図ることとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】

市民が生涯学習で学んだ知識や技術を地域や社会で活かせるようになるため、地域づくりにつながる学習講座等の開催や、ちば生涯学習ボランティアセンターの運営等を行っており、平成26年度末は10.0%と目標を達成した。これは、地域づくりにつながる学習講座への参加者数や、ちば生涯学習ボランティアセンターにおける情報発信・コーディネート件数が目標を達成するなど、順調に推移したためである。

【課題及び今後の取組みの方向性】

今後更なる高齢化が予想されており、担い手不足により地域の組織力が低下することも考えられるため、現在の取組みを継続して行うとともに、地域づくりにつながる学習講座についても伸ばしていく、地域の組織力の低下を防いでいく。

指標を構成する事業

計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	放課後子ども教室の推進	参加指導員・協力員数	37,000人／年	11,000人／年増	48,000人／年	24,617人／年★	未達成	0	
2	放課後子ども教室の推進	参加児童数	126,000人／年	36,000人／年増	162,000人／年	92,358人／年	未達成	0	
3	地域づくりにつながる学習講座の推進	地域活動に係る人材養成	890人／年	50人／年増	940人／年	1,067人／年	達成	0	
4	家庭教育を支援する学習の推進	公民館主催事業	100事業	18事業増	118事業	74事業	未達成	0	
5	家庭教育を支援する学習の推進	家庭教育支援チーム	1区	1区増	2区	2区	達成	0	
6	家庭教育を支援する学習の推進	子育てサポーター	3人／区	3人／区増	6人／区	5.5人／区	概ね達成	0	

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	ボランティアの登録受付(登録者数)	個人313人 団体66団体	個人400人 団体85団体	個人400人 団体85団体	個人341人 団体80団体	未達成	543,433	
2	ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	情報の発信及びコーディネート(コーディネート件数)	118件	118件	150件	198件	達成		

政策評価シート【個票:生活実感・行動指標】

施策の柱	3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3-2-1 生涯学習の推進

指標NO 77

指標名	科学・技術に興味を持っている	単位	%
-----	----------------	----	---

担当局 (区)	教育委員会事務局
------------	----------

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	40.0	45.0	50.0	X
現状値	34.9	33.4	—	—	

目標設定の考え方	市民が科学・技術を身近に感じができる環境づくりを進めるため、イベントや講座の開催などにより科学・技術に興味を持つ市民を増加させていくこととして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】

市民に科学・技術を身近なものに感じてもらうため、科学館の設置をはじめ、科学館などで実施している科学フェスタの開催や未来の科学者育成プログラムなどの各種事業を展開している。しかしながら、各事業への参加者数が市民全体からすると少数であることや、中学生・高校生に限定されているなど、対象範囲が全体的に狭いことから、科学・技術に興味を持っている市民の割合が33.4%と目標を下回ることとなってしまった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

今後は、子どもから大人まで、全ての世代を対象とした科学イベント・講座の開催やそのPRを積極的に進めていくなど、幅広い世代から興味をもってもらえるような事業展開に取り組んでいく。

指標を構成する事業

計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	科学都市戦略の推進	科学フェスタ事業数	173事業／年	27事業／年増	200事業／年	364事業／年	達成	0

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	科学館管理運営事業	展示事業、プラネタリウム事業、学校団体等の支援 (年間入館者数)	384,001人	1,176,000人	395,000人	352,373人	未達成	1,595,744
2	未来の科学者育成プログラム	参加者数	未実施	92名	35名／年	65名／年	達成	0
3	理科支援員等の配置	理科支援員の配置	配置	配置	配置	配置	達成	32,134

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3-2-1 生涯学習の推進

指標NO 78

指標名	公民館を利用する市民の割合	単位	%
-----	---------------	----	---

指標の説明	1年間に公民館を利用したことがある人の割合	担当局(区)	教育委員会事務局
-------	-----------------------	--------	----------

区分	H23末現状値	H27中間評価(H26末値)	H30中間評価(H29末値)	H34最終評価(H33末値)	達成状況
目標値	—	24.0	—	30.0	
現状値	21.5	21.4	—	—	×

目標設定の考え方	市民のニーズに応じた学習機会を提供し、市民生活を豊かなものとするとともに地域社会の課題解決に活かすため、公民館の利用を促進することとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
公民館の利用促進のため、さまざまな事業に取り組んできたが、老朽化が進む公民館の改修が目標を下回るなど、より利用しやすい施設の提供ができなかったことから、公民館を利用する市民の割合が目標を下回る21.4%にとどまってしまった。

【課題及び今後の取組みの方向性】
今後は、第2次実施計画に計上した公民館の改修事業について取り組んでいくとともに、これに計上できなかったものについても、次期実施計画に計上するよう検討を進めていく。

指標を構成する事業 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	家庭教育を支援する学習の推進	公民館主催事業	100事業	18事業増	118事業	74事業	未達成	0
2	地域づくりにつながる学習講座の推進	地域活動に係る人材養成	890人／年	50人／年増	940人／年	1,067人／年	達成	0
3	公民館の改修	冷暖房改修	—	4館	4館	3館	未達成	
4	公民館の改修	屋上防水改修	—	8館	8館	3館	未達成	70,737

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	公民館管理運営事業	講座等の学習機会の提供や学習活動の支援、施設の貸出(年間延受講者数)	47,121人	144,000人	49,000人	42,489人	未達成	1,268,981

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3-2-1 生涯学習の推進

指標NO 79

指標名	1人あたり貸出図書冊数	単位	冊
-----	-------------	----	---

指標の説明	1年間に千葉市図書館及び公民館図書室で貸出された図書の市民1人あたりの冊数	担当局(区)	教育委員会事務局
-------	---------------------------------------	--------	----------

区分	H23末現状値	H27中間評価(H26末値)	H30中間評価(H29末値)	H34最終評価(H33末値)	達成状況
目標値	—	5.7	6.0	6.3	
現状値	5.4	5.0	—	—	×

目標設定の考え方	政令指定都市の中で上位に入るレベルを目指すこととして目標値を設定した。
----------	-------------------------------------

【達成状況の分析】

1人当たりの貸出図書冊数のH27中間評価値が、H23末の現状値より下がってしまった主な原因としては、千葉市図書館及び公民館図書館の来館者が減少し(H24年度2,763,818人、H25年度2,686,226人、H26年度2,691,594人)、それに伴い貸出冊数(H24年度5,231,520点、H25年度5,025,338点、H26年度4,833,643冊)も減少したため、目標値を達成できなかったと考えられる。来館者の減少の要因としては、スマートフォンの普及など余暇の過ごし方が変化し、読書機会が減少するといった社会的要因のほか、開館日・開館時間内に図書館に行くことができないなど、図書館施設に係る要因も考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

利用者のニーズや、図書館に求められているサービスが多様化していることから、話題性のある本やリクエスト本の購入など資料の充実に努める。また、子どもの自主的な読書活動を推進していくため、「子ども読書活動推進計画」を策定し、家族で読書に親しむ機会を創出するための「ファミリー読書の日」の制定、イベントの実施により来館者の増加を図ることなどにより、幼少期から本に親しみ、生涯にわたる読書活動につながる取組みを目指す。他にも、図書館の空白地帯を解消し、図書館サービスの拠点整備を図るために、瑞穂地区の整備を進めていくとともに、利用者の利便性の向上を図るために、地区図書館のうち1館をサービスポイントとしての整備を検討する。

指標を構成する事業

計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	読書環境整備の推進	計画の策定	—	調査、策定	策定	策定	達成	0	

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	中央図書館サービス事業	資料の収集整理、レファレンス(相談業務)など(貸出冊数)	1,323,246冊	4,068,000冊	1,389,000冊	1,211,908冊	未達成	0	
2	地区図書館管理運営	資料の収集整理、レファレンス(相談業務)など(貸出冊数)	2,874,462冊	8,838,000冊	3,018,000冊	2,693,329冊	未達成	0	
3	公民館図書室管理運営事業	公民館図書室運営(貸出冊数)	1,033,812冊	3,178,000冊	1,085,000冊	925,882冊	未達成	0	

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3-2-1 生涯学習の推進

指標NO 80

指標名	科学フェスタのイベント数	単位	事業
-----	--------------	----	----

指標の説明	科学フェスタに関する様々なイベントの実施数(サテライトイベント等も含む)	担当局(区)	教育委員会事務局
-------	--------------------------------------	--------	----------

区分	H23末現状値	H27中間評価(H26末値)	H30中間評価(H29末値)	H34最終評価(H33末値)	達成状況
目標値	—	200	225	250	
現状値	173	322	—	—	○

目標設定の考え方	関係機関との連携の強化などにより、イベント数の増加を図ることとして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
H23年度末と比べて2倍程度の増なっているほか、既にH34年度の最終評価目標値も達成しているなど、十分に成果として表れていると言える。科学フェスタのメインイベントの定着とともに、サテライトイベントとして実施できている部分が大きい。
【課題及び今後の取組みの方向性】
今後さらにイベント数を増加させるためには、主に科学館で実施する科学フェスタメインイベントに関しては、回数的にもスペース的には限界に達しているため、様々な場所で行うサテライトイベントの充実を重点的に進めていく。また、単純にイベント数の増加だけでなく、対象世代を確認し、より幅広い世代に事業展開できているかや、様々なレベルの参加者へアプローチするためイベントの質的側面にも注目していく必要があるほか、産業界との連携をさらに進めていくことも必要である。

指標を構成する事業

計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	科学都市戦略の推進	科学フェスタ事業数	173事業／年	27事業／年増	200事業／年	364事業／年	達成	0	

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	科学館管理運営事業	展示事業、プラネタリウム事業、学校団体等の支援(年間入館者数)	384,001人	1,176,000人	395,000人	352,373人	未達成	1,595,744	

政策評価シート【個票:生活実感・行動指標】

施策の柱	3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

指標NO 81

指標名	週に1回はスポーツ・レクリエーション活動を行っている	単位	%
-----	----------------------------	----	---

担当局 (区)	市民局
------------	-----

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	35.0	40.0	45.0	
現状値	29.1	29.7	—	—	△

目標設定の考え方	スポーツ・レクリエーションに関する意識・関心の向上や機会の充実を図ることとして、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】

市民のスポーツ・レクリエーションの振興は、市民の健康づくりをはじめ、地域の活性化や地域づくりに寄与するため、市民ニーズに対応した情報発信や指導者養成、各種スポーツ・レクリエーション団体との連携、適切な施設管理に努めてきたところであるが、平成26年度末中間目標値(35.0%)に達しなかった。「千葉市スポーツ推進計画策定に関わる市民意識調査(平成26年実施)」より、週に3回以上スポーツ・レクリエーションを行う人は7.3ポイント(H21年:8.9%→H26年:16.2%)増加しているのに対し、スポーツ・レクリエーションをほとんど行っていない人は11.6ポイント(H21年:33.6%→H26年:45.2%)増加していることより、社会状況の変化に伴いライフスタイルが多様化し、余暇活動の選択肢が広がったことなどにより、スポーツ・レクリエーションの活動を実施する人としない人の二極化が進んできていることが推測される。

【課題及び今後の取組みの方向性】

市民の誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションへの関心や参加機会が持てるよう、情報発信や各種スポーツ・レクリエーション団体との連携、適切な施設管理に努めていく。また、「次期スポーツ推進計画」を策定し、スポーツ・レクリエーションの振興を図る。

指標を構成する事業

計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	海浜地区スポーツ広場の整備	海浜市民運動場	—	用地取得	用地取得	中止	中止	0
2	高洲市民プールの整備	プール・体育館の建替え	—	設計・工事	設計・工事	設計	未達成	110,777
3	公園緑地の整備(蘇我スポーツ公園)	蘇我スポーツ公園	供用 22.5ha	用地取得 約3.3ha 第3駐車場・第1多目的グラウンドの整備 4.1ha	供用 26.6ha	供用 53.6ha	達成	2,149,382
4	こてはし温水プールの改修	ガラスドーム改修	—	設計・工事	完了	完了	達成	18,325

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	スポーツ施設管理事業	維持・管理	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	達成	1,645,187
2	スポーツ活動支援	地区スポーツ教室開催	85教室	5教室増	90教室	79教室	未達成	10,724
3	スポーツ大会開催	家庭バレーボール大会・少年球技大会開催	353チーム	10チーム増	363チーム	344チーム	未達成	2,775
4	学校体育施設開放	利用回数(市民1人あたり)	2.56回	0.1回増	2.66回	2.42回	未達成	73,216

政策評価シート【個票:生活実感・行動指標】

施策の柱	3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

指標NO 82

指標名	市内のプロスポーツチームや市にゆかりのあるスポーツ選手に親しみを感じる	単位	%
-----	-------------------------------------	----	---

担当局 (区)	市民局
------------	-----

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	43.0	47.0	50.0	
現状値	40.1	36.5	—	—	×

目標設定の考え方	ホームタウンの推進や、トップスポーツ選手と触れ合う機会の充実などを図ることとして、目標を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】

トップスポーツとの連携による地域貢献活動などを通じて、地域スポーツの活性化及び観戦機運の向上を目的に各種施策に取り組んできたが、平成26年度末の目標値43.0%に達しなかった。原因としては、千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド市原・千葉の成績低迷によるメディア等への露出低下と、ライフスタイルの多様化による日常生活の中でのスポーツ関心度の低下などが推察される。

【課題及び今後の取組みの方向性】

引き続き、トップスポーツとの連携を推進することで、地域活動のコーディネートや、各チームとの連携強化を目的とした協定の締結を行ない、トップスポーツ選手とふれあう機会の充実を継続的に行っていくだけでなく、市の広報媒体を利用してトップチーム等の活動情報の発信を行い、目標値の達成を目指す。

指標を構成する事業

計画事業								(千円)
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	トップスポーツとの連携の推進	チーム・選手の情報発信	—	情報のデータベース化	情報のデータベース化	情報のデータベース化	達成	
2	トップスポーツとの連携の推進	社会貢献活動のコーディネート	—	実施	実施	実施	達成	197

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	国際千葉駅伝事業	国際大会の開催(観客数)	329,100人	900人増	330,000人	318,000人	未達成	84,193	
2	千葉国際クロスカントリー大会事業	国際大会の開催(観客数)	35,300人	700人増	36,000人	16,400人	未達成	987	
3	ホームタウン推進事業	転入者観戦招待、ホームタウンキャンペーン、小学生向け野球・サッカー教室	実施	イベント内容見直し、実施	実施	実施	達成	24,312	

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

指標NO 83

指標名	スポーツ・レクリエーション活動の参加者数	単位	人
-----	----------------------	----	---

指標の説明	市のスポーツ・レクリエーション教室や大会・行事の参加数とスポーツ施設、学校体育施設開放の延べ利用者数	担当局(区)	市民局
-------	--	--------	-----

区分	H23末現状値	H27中間評価(H26末値)	H30中間評価(H29末値)	H34最終評価(H33末値)	達成状況
目標値	—	4,463,000	4,478,000	4,498,000	
現状値	4,447,491	4,449,333	—	—	△

目標設定の考え方	スポーツ・レクリエーション活動の場の提供や、老朽化した施設の改修などを推進することにより、参加者の増を図ることとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】

市民のスポーツ・レクリエーションへの多様なニーズに対応するため、各種スポーツ施設の整備・充実を図るとともに、学校体育施設開放事業などに取組んできたが、学校の統廃合による体育施設の減や、東日本大震災の影響により、高洲市民プールのプールが閉鎖したため、結果として利用者数が目標に達しなかった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

現在整備中の高洲スポーツセンター及び磯辺スポーツセンターはいずれもH29年度に供用開始予定であり、利用者の増加が期待できる。また、経常事業である「学校体育施設開放事業」も着実に行い、安定した利用者の確保を行っていく。

指標を構成する事業

計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費(千円)
1	海浜地区スポーツ広場の整備	海浜市民運動場	—	用地取得	用地取得	中止	中止	0
2	ポートアリーナの改修	中央監視装置・熱源機器改修工事	実施設計	工事	完了	完了	達成	259,350
3	高洲市民プールの整備	プール・体育館の建替え	—	設計・工事	設計・工事	設計	未達成	110,777

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費(千円)
1	スポーツ施設管理事業	維持・管理	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	達成	1,645,187
2	スポーツ活動支援	地区スポーツ教室開催	85教室	5教室増	90教室	79教室	未達成	10,724
3	スポーツ大会開催	家庭バレー大会・少年球技大会開催	353チーム	10チーム増	363チーム	344チーム	未達成	2,775
4	学校体育施設開放	利用回数(市民1人あたり)	2.56回	0.1回増	2.66回	2.42回	未達成	73,216

政策評価シート【個票:生活実感・行動指標】

施策の柱	3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える
施策	3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

指標NO 84

指標名	ホームタウンチームのホームゲーム年間入場者数	単位	千人
-----	------------------------	----	----

指標の説明	ホームタウンチーム(千葉ロッテマリーンズ及びジェフユナイテッド千葉)のホームゲーム(QVCマリンフィールド及びフクダ電子アリーナ)の年間入場者数	担当局(区)	経済農政局
-------	--	--------	-------

区分	H23末現状値	H27中間評価(H26末値)	H30中間評価(H29末値)	H34最終評価(H33末値)	達成状況
目標値	—	1,650	1,720	1,780	
現状値	1,544	1,423	—	—	×

目標設定の考え方	QVCマリンフィールドにおける過去4年間の最高収容率を目指し、目標値を設定した。また、フクダ電子アリーナについても、同様の収容率を目指すこととし、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】

H26年度の、ZOZOマリンスタジアム(旧QVCマリンフィールド)の入場者目標数は、1試合あたり、20,000人とし、年間では1,440,000人としていた。しかし、実際には、1試合あたり、16,999人にとどまった。

これは、千葉ロッテマリーンズの成績が低迷し、最終順位も4位に終わるなど、シーズンを通じた盛り上がりが見られなかっただけが原因であると考えられる。また、4月のZOZOマリンスタジアム(旧QVCマリンフィールド)は野球観戦には肌寒い日が続き、1試合平均14,542人と低かったことも理由として考えられる。

一方、フクダ電子アリーナの入場者目標数は、1試合あたり、10,000人とし、年間では、210,000人としていた。しかし、実際には、1試合あたり、9,911人とわずかに目標には及ばなかった。

これは、シーズン序盤のジェフユナイテッド千葉の成績の低迷により、1試合平均7,000人台の試合が続くことがあったことが原因であると考えられる。シーズン終盤はチームの成績の上昇に伴い入場者数も増えていったが、目標数には届かなかった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

ZOZOマリンスタジアム(旧QVCマリンフィールド)については、肌寒い4月にいかに多くの集客を図るかが重要である。チームの成績に因るところが大きいが、寒さを感じさせないような企画など球団がファンサービスに力を入れていく必要があり、市としても、協力できる部分があれば協力していく。

フクダ電子アリーナについては、J1に昇格すれば、アウェイサポーターの数が格段に増えるため、1試合あたり10,000人の目標数は到達できるものと考えられる。クラブがJ1に昇格するために、多くの市民の応援が得られるようなホームタウン推進事業を、引き続き継続していく。

指標を構成する事業

計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	QVCマリンフィールドの充実	施設改修	トイレ改修、人工芝張替	トイレ改修、コンコース階段手摺、中央監視装置、音響システム	トイレ改修、コンコース階段手摺、中央監視装置、音響システム	トイレ改修、コンコース階段手摺、中央監視装置、音響システム	達成	629,490

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	ホームタウン推進事業	転入者観戦招待、ホームタウンキャンペーン、小学生向け野球・サッカーレッスン	実施	イベント内容見直し、実施	実施	実施	達成	24,312